
神のエゴ

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神のエゴ

【Nコード】

N3995M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

誰にでも愛される弟を愛せなかった兄は己を偽善者といい、また神を信じる心はなかった。神に愛されるべきは弟だった。

けれど、運命が鉄槌を振り下ろしたのは、残酷な道へと導いたのは弟であって不運だった。ただの事故だった。

けれど、ああ。僕は罪人だ。そんな神を嫌いになれない。弟の愛した神を、好きでいる。

神のえご

なぜ、なぜ僕なんだ。

僕みたいな偽善者で、空虚主義者で、現実主義者で……。
なのに、なぜ、僕なんだ。僕じゃなくてもいいじゃないか。

弟みたいに信じているわけでもない。いや、それ以前に否定している。

弟ではなく、なぜ僕が、選ばれたんだ。

わからない。

そんな疑問を抱えて、僕は奉仕する。

信じてやいないのに。

否定してるのに。

なのに、僕が選ばれて。

信じているのに。

肯定しているのに。

なのに、弟が裏切られて。

僕は罪人だ。僕は咎人だ。なのに、なのに……。

愛されるべきは俺じゃない。弟だ。

俺じゃなくていい。俺じゃないほうがいい。

弟が、愛されていたなら良かったのに。
大好きな、大好きな弟。

神が嫉妬するほどに愛する、大切な弟。

でもね、僕は本当にいけない子なんです。

弟を殺した、見殺しにした神を、嫌いになれない。
神が、大好きなんです。

愛してやまない弟を殺した、憎むべき神。
それでも、好きなんです。

僕の弟はこんな僕を許してくれるのでしょうか。

偽善者で、神の存在を信じなくて、弟を殺した神を愛している、僕。

選ばれたのは僕。弟ではない。なぜ？
なぜ、弟じゃなかったんだろう。僕じゃなきゃ、いけなかったんだ
ろう。

緩んだ螺子、神に捧げる音を奏でる音

それに合わせて高らかに、軽やかに響く歌声。
神の偶像の前に跪く、僕。

突然、音が止む。

弟の顔は、こちらを向いて、穏やかに。

優しく微笑んだのが最期

かけようとした声は落ちてきた音にかき消される。

映るのは目の前、血が床に広がり、身体を潰された弟。

真っ白。

ああ、神様。

なぜあなたは弟を見殺しにしたのですか。

あなたの嫉妬が弟を殺したというのに私はあなたを嫌いになれませんでした。

信じていないのに。残酷なのに。

ああ、弟よ。わかっていたのならなぜ、死ななければならなかった？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3995m/>

神のエゴ

2010年10月9日04時41分発行